

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）（第2回変更）

平成30年3月23日

計画の名称	笠岡市における循環のみちの実現（防災・安全）			重点計画の該当
計画の期間	平成28年度 ～ 平成31年度（4年間）	交付対象	笠岡市	
計画の目標				

南海トラフ地震に備え、下水道管渠（重要な幹線）の耐震化を図るとともに、ストックマネジメント計画を策定することで安全・安心な生活を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）	<p>①耐震化を実施していない重要幹線における総合地震対策計画策定率を 0 % (H28) から 100 % (H31) へ増加させる。</p> <p>②耐震化を実施していない重要幹線における総合地震対策実施率を 77 % (H28) から 85 % (H31) へ増加させる。</p> <p>③ストックマネジメント計画策定に係る管路施設の点検・調査実施率を 0 % (H28) から 3.8 % (H31) へ増加させる。</p> <p>④ストックマネジメント計画策定に係る処理場・ポンプ場施設の点検・調査実施率を 0 % (H28) から 33 % (H31) へ増加させる。</p>
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	
①処理区における総合地震対策計画策定率 総合地震対策計画策定済み処理区数（箇所）／総合地震対策計画を策定する処理区数（箇所）	0%	0%	100%	
②重要幹線における総合地震対策実施率 総合地震対策完了済み幹線管渠延長（m）／総合地震対策を実施する幹線管渠延長（m）	77%	77%	85%	
③ストックマネジメント計画策定に係る管路施設の点検・調査実施率 点検・調査実施済みとなる管渠延長（km）／ストックマネジメント計画の対象となる管渠延長（km）	0%	0%	3.8%	
④ストックマネジメント計画策定に係る処理場・ポンプ場施設の点検・調査実施率 点検・調査実施済みとなる処理場・ポンプ場数（箇所）／ストックマネジメント計画の対象となる処理場・ポンプ場数（箇所）	0%	0%	33%	
	C / (A + B + C + D)			

交付対象事業

A1 下水道事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	個別施設計画 策定状況	備考
										H28	H29	H30	H31			
A07-001	下水道	一般	笠岡市	直接	-	-	長寿命化対策事業（笠岡処理区）	ストックマネジメント計画策定	笠岡市					110		
A07-002	下水道	一般	笠岡市	直接	-	管渠(汚水)	総合地震対策事業（笠岡処理区）	総合地震対策計画策定・設計	笠岡市					100	策定中	総合地震
A07-003	下水道	一般	笠岡市	直接	-	管渠(汚水)	総合地震対策事業（笠岡処理区）	総合地震対策（管渠設備）	笠岡市					100	策定中	総合地震
										合計				310		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
										H28	H29	H30	H31		
										合計					

番号 一体的に実施することにより期待される効果

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
										H28	H29	H30	H31		
										合計					

番号 一体的に実施することにより期待される効果

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考	
									H28	H29	H30	H31			
										合計					

番号 一体的に実施することにより期待される効果

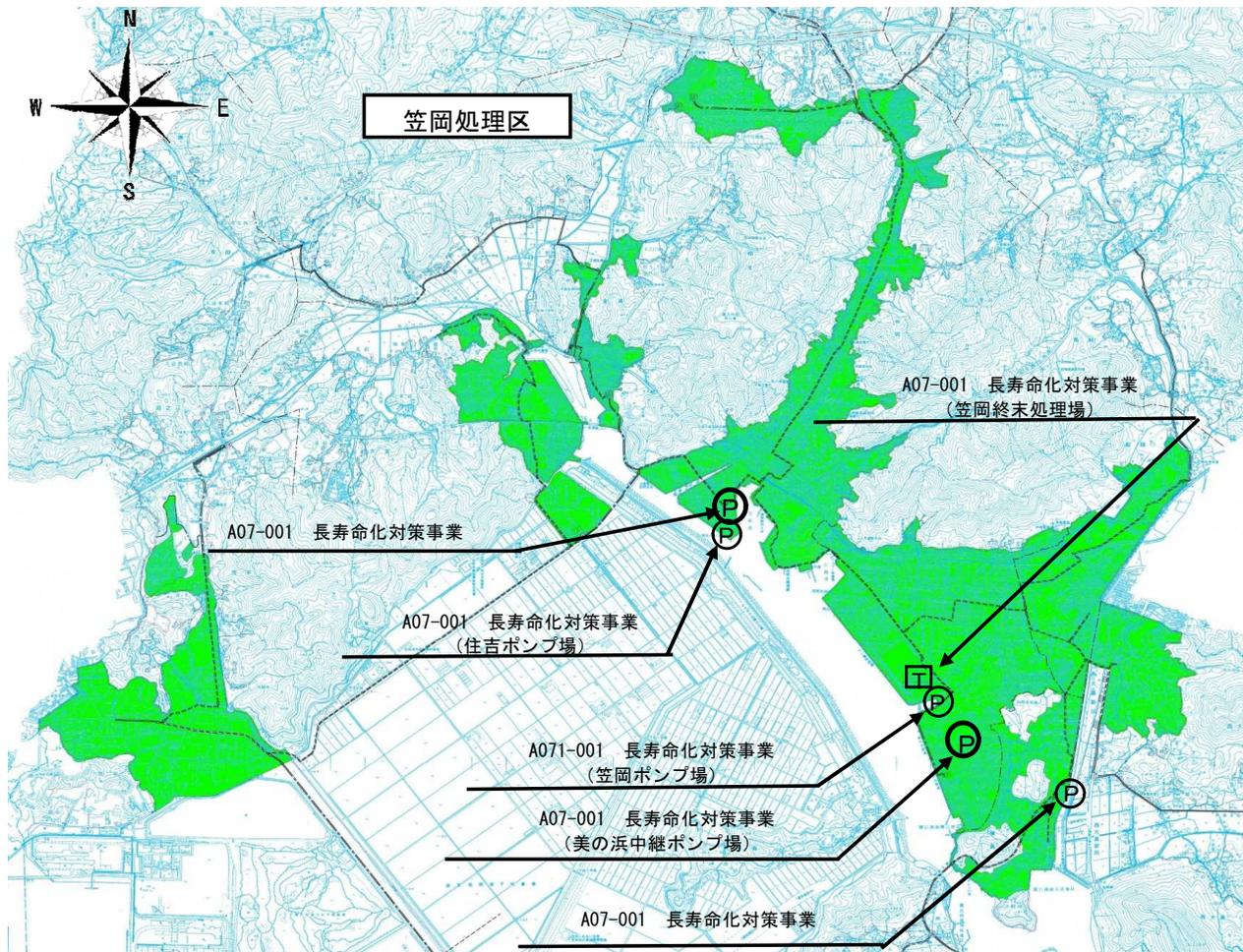
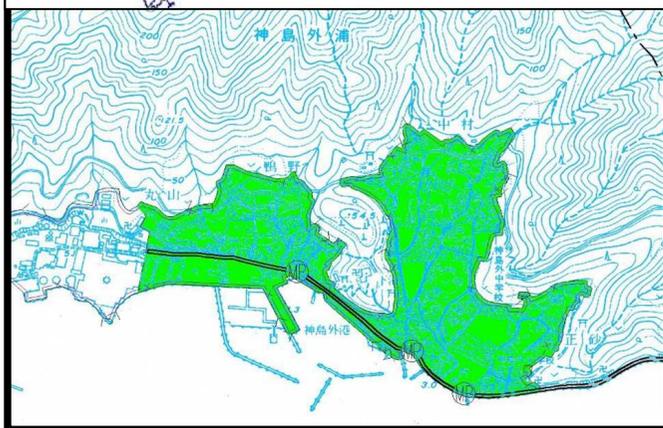
社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）（第2回変更）

平成30年3月23日

計画の名称	笠岡市における循環のみちの実現（防災・安全）			重点計画の該当
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）		交付対象	笠岡市
交付金の執行状況				
（単位：百万円）				
	H28	H29	H30	H31
配分類 (a)	4	25	34	32
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	4	25	34	32
前年度からの繰越額 (d)				
支払済額 (e)	4	25	34	32
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由				

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金) (第2回変更)

計画の名称	笠岡市における循環のみちの実現 (防災・安全)		
計画の期間	平成28年度 ~ 平成31年度 (4年間)	交付対象	笠岡市



※整備については、すべて  
下水道事業計画区域内で行う。

凡 例	
	ポンプ場
	下水処理場

事業計画区域内(笠岡処理区)	
	長寿命化対策事業(笠岡処理区) 【A07-001】
	総合地震対策事業(笠岡処理区) 【A07-002】
	【A07-003】

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

( 下 水 道 事 業 )

計画の名称: 笠岡市における循環のみちの実現(防災・安全)

事業主体名: 笠岡市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①個別処理との経済比較に関する上位計画等との適合	
1)都道府県構想(クリーンライフ100構想)に適合している。	○
2)これまで行ってきた、「下水道事業の整備効果向上を図るための事業の再点検(4つの点検)」の実施結果を反映している。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえて下水道整備の目標が設定されている。	○
2)下水道整備の必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と下水道事業認可区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	—
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	—
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)計画および実施に関し、住民等に対する事前説明が行われている。	○
3)計画および実施に関し、住民等との間で合意が形成されている。	○

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年05月21日

計画の名称	笠岡市における循環のみちの実現（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～平成31年度（4年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	笠岡市												
計画の目標	南海トラフ地震に備え、下水道管渠（重要な幹線）の耐震化を図るとともに、ストックマネジメント計画を策定し、安全・安心な生活を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	310	A	310	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H28当初	中間目標値 H29末	最終目標値 H31末
1	耐震化を実施していない重要幹線における総合地震対策計画策定を0%（H28）から100%（H31）へ増加させる。 処理区における総合地震対策計画策定率 総合地震対策計画策定済み処理区数（箇所）／総合地震対策計画を策定する処理区数（箇所）	0%	0%	100%
2	耐震化を実施していない重要幹線における総合地震対策実施率を77%（H28）から85%（H31）へ増加させる。 重要幹線における総合地震対策実施率 総合地震対策完了済み幹線管渠延長（m）／総合地震対策を実施する幹線管渠延長（m）	77%	77%	85%
3	ストックマネジメント計画策定に係る管路施設の点検・調査実施率を0%（H28）から3.8%（H31）へ増加させる。 ストックマネジメント計画策定に係る管路施設の点検・調査実施率 点検・調査実施済みとなる管渠延長（km）／ストックマネジメント計画の対象となる管渠延長（km）	0%	0%	4%
4	ストックマネジメント計画策定に係る処理場・ポンプ場施設の点検・調査実施率を0%（H28）から33%（H31）へ増加させる。 ストックマネジメント計画策定に係る処理場・ポンプ場施設の点検・調査実施率 点検・調査実施済みとなる処理場・ポンプ場数（箇所）／ストックマネジメント計画の対象となる処理場・ポンプ場数（箇所）	0%	0%	33%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>
-----	-----------	-----------------------	----------	--------------------------	----------	--------------------------	------------	--------------------------	------------	--------------------------	-----------	--------------------------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	笠岡市	直接	-	-	改築	長寿命化対策事業（笠岡 処理区）	ストックマネジメント計画策 定	笠岡市		■	■	■		110	-	
		総合地震																	
	A07-002	下水道	一般	笠岡市	直接	-	管渠（ 污水）	改築	総合地震対策事業（笠岡 処理区）	総合地震対策計画策定・設計	笠岡市		■	■	■	■		100	策定中
		総合地震																	
	A07-003	下水道	一般	笠岡市	直接	-	管渠（ 污水）	改築	総合地震対策事業（笠岡 処理区）	総合地震対策（管渠設備）	笠岡市					■		100	策定中
		総合地震																	
											小計						310		
											合計						310		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

笠岡市

事後評価の実施時期

令和2年5月末

公表の方法

笠岡市ホームページで公表する

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

総合地震対策事業計画及び下水道ストックマネジメント事業計画の策定が完了し、安心・安全な市民生活の確保を図ることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

今後事業実施を進め、施設の耐震化及び健全化により安心・安全な市民生活の確保を図る。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	総合地震対策計画策定率	
	最終目標値	100%
2	最終実績値	100%
	重要な幹線の総合地震対策計画策定率	
2	最終目標値	85%
	最終実績値	25%
最終目標数値を高数値としていたため、実績値は実現可能である現実的な数値となった。		
3	管路施設の点検調査実施率	
	最終目標値	4%
3	最終実績値	68%
	点検調査については、重点的に実施を行ったため、実績値が増となった。	
4	処理場・ポンプ場の点検調査実施率	
	最終目標値	33%
4	最終実績値	67%
	点検調査については、重点的に実施を行ったため、実績値が増となった。	